

3分でわかるアルムナイ



アルムナイのはじまり

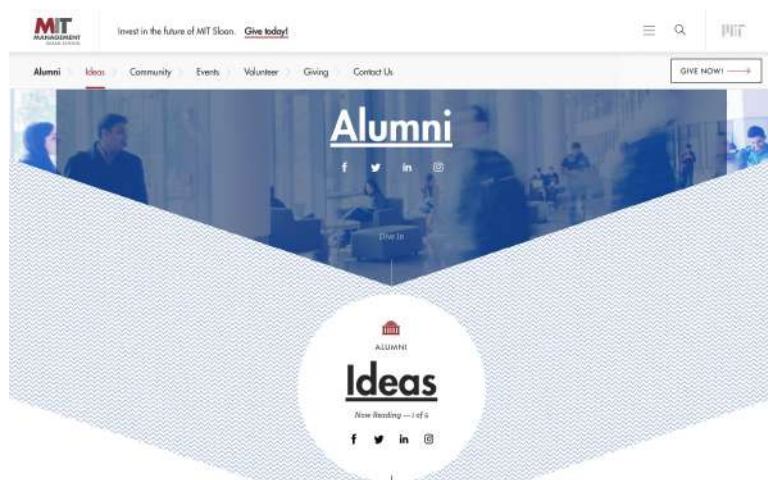
アルムナイとは

「アルムナイ」は英語で「alumni」と表記し、本来は「卒業生」「同窓生」「校友」という意味で、大学などの学校の卒業生を中心に使われていました。雇用の流動性が高い欧米企業を中心に「企業の離職者やOB・OG」という意味でも使用されるようになりました。

大学のアルムナイ

日本の多くの大学にも校友会がありますが、海外の大学ではアルムナイとより強い関係を構築している傾向があります。卒業後も継続的に繋がりを維持するために、アルムナイ向けに多くのサービスを提供している事例が多くあります。アルムナイ専用のオンライン名簿やクローズド SNSを提供しているのは一般的で、卒業後も大学と卒業生が繋がりを継続しています。結果として、母校への想いが強い卒業生が多く、多額の寄付金などを通じて母校へ貢献してくれる卒業生が多数います。また、卒業生の活躍を可視化することで、大学自体のブランディングにも貢献しています。

マサチューセッツ工科大学のアルムナイ向けサイト



MIT Alumni Association の取り組み

- ・アルムナイオンライン名簿
 - ・オンラインコミュニティ
 - ・オン/オフラインイベント
 - ・アルムナイの活躍紹介
 - ・アルムナイ向けの求人情報
 - ・ボランティア機会の提供
 - ・寄付金の募集
- など

企業におけるアルムナイ

退職で終わらない関係づくりへ

大学の卒業生として使われていたアルムナイという概念が、欧米を中心に企業へ普及し、ここ数年は日本でも急激に浸透しつつあります。「候補者」と「従業員」の関係に加えて、退職後の「アルムナイ・リレーション」に取り組み企業が増加しています。



アルムナイとの繋がりで実現できること

再雇用

自社製品やサービスの理解度が高いため、即戦力人材として採用が可能。アルムナイとしても経験を最大限生かさせます。

業務委託

お互いに信頼関係があり、業務の質が担保されることで、安心してスムーズに業務委託が可能です。

採用ブランディング

退職後も良好な関係性を継続することで正確な口コミをしてもらったり、退職後のキャリアパスを可視化することで、採用ブランディングの強化につながります。

オープンイノベーション

「知の深化」に必要なウチ側と「知の探索」に必要なソト側の複眼視点を持つアルムナイとのオープンイノベーションは、実現性が高く注目されています。

顧客・パートナー

自社製品やサービスをよく知るアルムナイは、退職後も良い顧客や販売パートナーになってもらえます。

リファラル採用

自社で活躍できる条件やカルチャーをよく知っているアルムナイからの紹介はマッチ度が高いリファラル採用になります。

なぜ今アルムナイが注目されてるのか

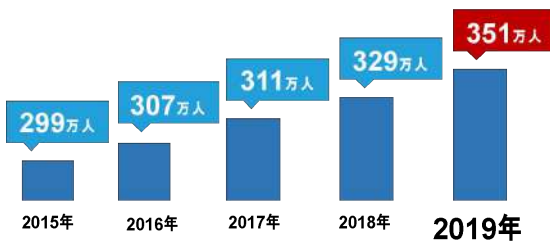
いままで

「退職者＝裏切り者」という考え方

高度成長期に根付いた日本的経営「三種の神器」の一つである「終身雇用」を背景に、日本では「退職者＝裏切り者」という考え方が残っていました。これにより、企業とアルムナイとの関係性は限定的なものとなっていました。

変わる考え方

終身雇用制の崩壊・人材流動化時代への突入



2019年の転職者数は351万人と就業者数の5.2%と過去最多となり、人材流動化の高まりが鮮明になってきています。

データ:「労働力調査結果」(総務省統計局)



2019年春には、トヨタ自動車株式会社の豊田社長や経団連の中西会長など、企業側も終身雇用の崩壊を名言しました。

※写真はテレ朝ニュースウェブサイト

これから

退職で終わらない関係へ

退職者と良好な関係で繋がることで、再雇用や業務委託、時にはビジネスパートナーといった関係性に発展しやすくなります。人材の流動化が進んだ現在、企業と個人が **退職で終わらない関係性を築く**ことが必要となっています。

辞め方改革が重要に

退職で終わらない関係を構築するには、企業も退職に対する考え方を見直し、お互い良い「辞め方・辞められ方」をすることが重要です。退職エクスペリエンスが退職後の関係に大きな影響を与えることは、以下の調査結果でもご覧いただけます。

企業事例

再雇用

kuraray



「やっぱりクラーレが良かった」と感じることはあると思うんです。それは、転職を失敗したというわけではなく、外の世界を見たからこそ気がつくことはあると思います。

(続きは以下リンクからご覧ください)

<https://alumni.official-alumni.com/archives/3827>

ビジネス連携

dentsu



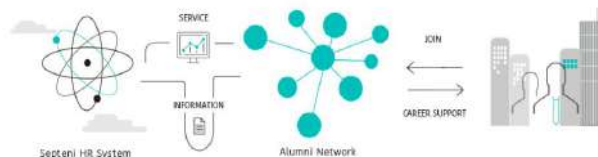
広告やクリエイティブとは関係のない分野にいるアルumnaiも多くいるからこそ、異業種間でのネットワーキングができるのではと期待しています。

(続きは以下リンクからご覧ください)

<https://alumni.official-alumni.com/archives/3876>

ゆるいつながら

SEPTENI



人材育成を自社にいる間のみ限定するのではなく、自社のアルumnai(退職した社員)に対しても継続的に人材育成の支援を行うことで、人材育成の観点でエンゲージメントを継続させ、よきパートナーシップを築くことは企業にとっても大きなメリットとなる
(続きは以下リンクからご覧ください)

<https://www.septeni-holdings.co.jp/dhrp/solutions/alumninetwork.html>

海外

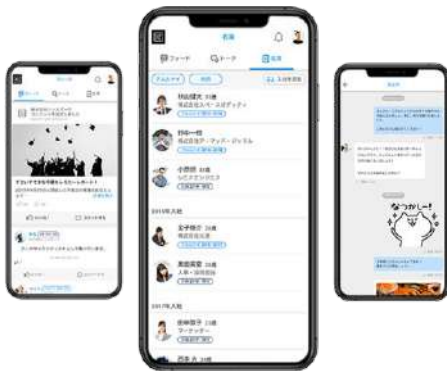
アルumnaiの取り組みで有名なマッキンゼーで0年間アルumnaiの責任者だったSean Brown氏は、1997年にマッキンゼーを退職した後、2007年にマッキンゼーに復職する直前の4年間はMIT SloanでMBA生のAlumni Relationsの責任者を努めていて、その経験をマッキンゼーに持ち帰りました。そしてそのBrown氏は以下のように言います。

「候補者に対しては、入社後に受けられる素晴らしいトレーニングや意義ある大きな課題、入社後に一緒に仕事をする最高の顧客の話をするだけでなく、退職後もアルumnaiとの関係を大切に維持して生涯関係を築くことを説明します。」

書籍「Under New Management: How Leading Organizations Are Upending Business as Usual」から抜粋・翻訳

サービス

アルumni名簿& SNS



名簿(アルumni・社員一覽)

登録者の基本情報を一覽で表示することができます。名簿機能から興味のあるアルumni・社員と連絡を取り、繋がりを持つことができます。

プロフィール詳細表示

名前、入社・退社年などの基本情報から、活動エリア・利用目的などの詳細情報まで確認が可能で、お互いの近況を知ることができます。

フィード

新規登録者の参加やプロフィールの更新時にフィードが更新され、常にアルumniの最新情報を知ることができます。

個別・グループチャット

使い慣れたチャット形式のインターフェースで、企業もアルumniもスムーズなコミュニケーションが可能です。

お問い合わせ専用ページ

<https://official-alumni.com/contact/>



 contact@official-alumni.com

株式会社ハッカズーク 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-6 コアロード西新宿1206 <https://hackazouk.com>

アルumniリレーション

検索



<https://official-alumni.com>